

1. 件名：原子力エネルギー協議会等との面談
2. 日時：令和5年11月30日（木）16：30～18：00
3. 場所：原子力規制庁9階会議室
4. 出席者：

原子力規制庁

原子力規制部

原子力規制企画課

藤森企画調査官、照井課長補佐、佐藤係長、
田代係長

実用炉審査部門

小林主任安全審査官、深堀技術参与

技術基盤グループ

シビアアクシデント研究部門

舟山安全技術管理官、塚本上席技術研究調査官、
関根副主任技術研究調査官、
八木橋副主任技術研究調査官、
後藤技術研究調査官、増原技術参与

システム安全研究部門

江口主任技術研究調査官、
柴主任技術研究調査官、
秋葉主任技術研究調査官

原子力エネルギー協議会（ATENA） 副部長

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 燃料管理G 課長

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

炉心設計部 シニアエンジニア 他8名

日立GEニュークリア・エナジー株式会社

原子力計画部 ユニットリーダー主任技師 他2名

東芝エネルギーシステムズ株式会社

原子炉安全システム設計部 エキスパート 他6名

5. 要旨：

- ATENA 等から、資料1に基づいて、第16回主要原子力施設設置者の原子力部門の責任者との意見交換会（令和4年12月12日）において ATENA 等から提案のあった沸騰水型原子炉における将来的な10行10列燃料の導入に向けた最適評価コード及び統計的安全評価手法に係る特定の共通事項に係る技術文書について、検討状況及びその検討内容の概要について説明を受けた。
- 原子力規制庁は、当該説明について聞き置くとともに、ATENA 等に対して、今後の説明に当たっては、分かりやすさの観点から、英語表記の単語・略語の和訳表記一覧や用語の解説を付けること、本件に関する全体的なスケジュールを併せて提示すること、といっ

た指摘を行った。

- ATENA 等から、了解した旨回答があった。また、本件の検討状況やその検討内容の概要については、今後も継続的に説明を行っていく旨、発言があった。

6. 配布資料：

資料 3次元核熱結合動特性解析コード（TRAC 系コード）及び統計的安全評価手法について